



令和2年10月29日

報道機関 各位

東北大学

東北大学「スタートアップ・ユニバーシティ宣言」 ～国内大学初のベンチャー創出支援パッケージを創設し、 スタートアップの創出と起業家人材の育成を加速化させていきます～

【概要】

新産業創出や地域活性化が求められる中で、社会変革の原動力となるスタートアップの創出とアントレプレナーシップ育成の重要性が増しております。

上記認識のもと、東北大学は、「スタートアップ・ユニバーシティ宣言」を行い、以下の取り組みを実施します。

・国内大学初のベンチャー創出支援パッケージの創設

- (1) 大学発ベンチャーの経営者候補人材を確保するため、東北大学版 EIR (Entrepreneur in Residence) 制度を創設します。本学でアントレプレナーシップの育成やベンチャー支援業務に携わりながら、いわば「住み込み」で、本学研究成果を活用した起業を目指してもらうことが狙いです。
- (2) 起業を目指す本学学生を支援するために、「東北大学アクセラファンド」を創設し、事業化に必要な資金を提供します。学生は資金提供と並行して、専門家によるメンタリングなど起業に向けたアクセラレーションプログラムを受けることができます。
- (3) 東北大学の同窓会組織である萩友会と連携し、東北大学スタートアップ・アルumnナイ(同窓会起業家クラブ)を組織化します。東北大学スタートアップ・アルumnナイでは、ソーシャルネットワーク(SNS)を活用することにより、本学発ベンチャーに興味のある卒業生との接点を増やし、支援者・経営者候補の裾野を広げます。また、「東北大学スタートアップアドバイザー」制度を創設し、産業界で活躍する本学卒業生が起業を目指す研究者・学生の事業化検証に必要なコンサルティングを実施します。

・わが国初の広域的な大学発ベンチャーファンドの設立

東北大学ベンチャーパートナーズ(株)(東北大学 100%出資)は、本年 10 月 26 日に東北 6 県に新潟を含めた 7 県の国立大学発ベンチャーを主な投資対象

とする THVP-2 号投資事業有限責任組合(以下、「2 号ファンド」という。)を設立しました。2 号ファンドを通じて、大学発ベンチャーに投資を行うことで、新産業の創出と地域活性化に貢献します。

なお、2 号ファンドでの投資を進めるにあたっては、「東北地域ベンチャー支援エコシステム連絡協議会」を設立し、東北大学が構築したシームレスなベンチャー支援の経験を東北 6 県に新潟を含めた 7 県の大学で共有していきます。

【用語の解説】

EIR: Entrepreneur in Residence・・・「in Residence(居住する、住み込む)」という文字通り、起業家が既存の企業や大学などの組織に入り、その中で新規事業(スタートアップ)の立ち上げを行う制度のことです。

アクセラレーション・・・加速を意味する本用語は、ベンチャー支援の文脈では、短期間で事業を成長させることを意味します。

【問い合わせ先】

東北大学産学連携機構事業イノベーションセンター
企画推進部長 柏原 滋

東北大学研究推進部産学共創企画課長 菊田克也

電話 022-795-5279

E-mail info.innovation@ml.tohoku.ac.jp



東北大学「スタートアップ・ ユニバーシティ宣言」

～大学を起点とする新産業創出に向けて～

2020年 10月 29日



「スタートアップ・ユニバーシティ宣言」要旨

今後、新産業創出や地域活性化が求められる中で、社会変革の原動力となるスタートアップの創出とアントレプレナーシップ育成が必須

➔ **スタートアップ・ユニバーシティ宣言**のもと、以下の取り組みを実施

1

国内大学初の ベンチャー創出支援パッケージ 創設

東北大学版EIR（住み込み起業家）、学生アクセラファンド、東北大学スタートアップ・アルムナイ創設

2

わが国初の 広域的な大学発ベンチャーファンド 設立

同時に東北地域ベンチャー支援エコシステム連絡協議会を設立

東北地域の持続的な経済活性化
高度人材定着化の促進

起業・経営者候補人材確保を目指す

① 東北大学版EIR (住み込み起業家)

EIR (Entrepreneur in Residence) として、本学でアントレプレナーシップの育成やベンチャー支援業務等に携わりながら、本学シーズを活用した起業を目指す

東北大学版EIR



スタートアップ支援拠点で活動



業務を通じてVC、専門人材とのネットワーク形成

起業を目指す学生を支援

② 学生アクセラファンドの創設

東北大学アクセラファンドを創設し、事業化支援資金を提供
(数十万円×数件)

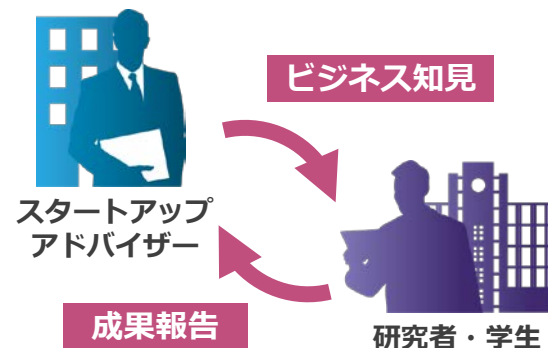
アクセラレーションプログラムの展開により起業をサポート



萩友会と連携し、本学卒業生を組織化

③ 東北大学スタートアップ・アルムナイ (同窓会起業家クラブ) の開始

東北大学スタートアップ・アルムナイ (SNS) の開設
東北大学スタートアップアドバイザー制度の開始



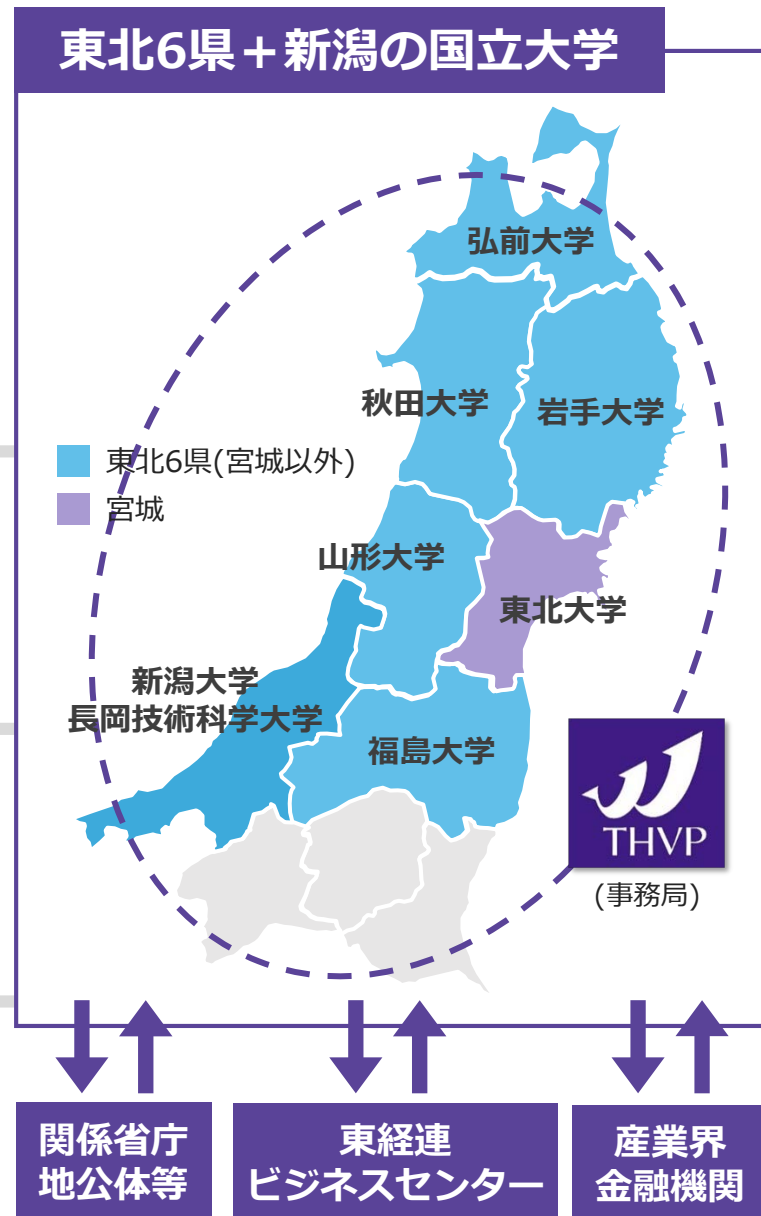
2. わが国初の広域的な大学発ベンチャーファンド

- 本学が54.4億円を出資し10月にTHVP-2号ファンドを設立（ファンド規模 約80億円を目指す）
- 主な投資対象を本学をはじめとした東北の国立大学発ベンチャーに拡大
- 東北大学が構築したシームレスなベンチャー支援の経験を東北6県に新潟を含めた7県の大学へ共有する **東北地域ベンチャー支援エコシステム連絡協議会**を設立

① 大学間での起業人材育成の連携

② 大学間でのベンチャー支援に関する連携

③アントレプレナーシップ育成プログラムの展開





これまでのシームレスなベンチャー支援の取組みにより、東北大学発ベンチャー企業の創出が加速 ➡ 2030年までにプラス100社創出をめざす

東北大学発ベンチャー企業数

121社 (2019年度)

全国トップクラスの伸び率：128.3%増

※2016年度比伸び率 (全国平均：38.6%増)

出典：経済産業省 大学発ベンチャー実態等調査

国内未上場スタートアップ企業時価総額ランキング

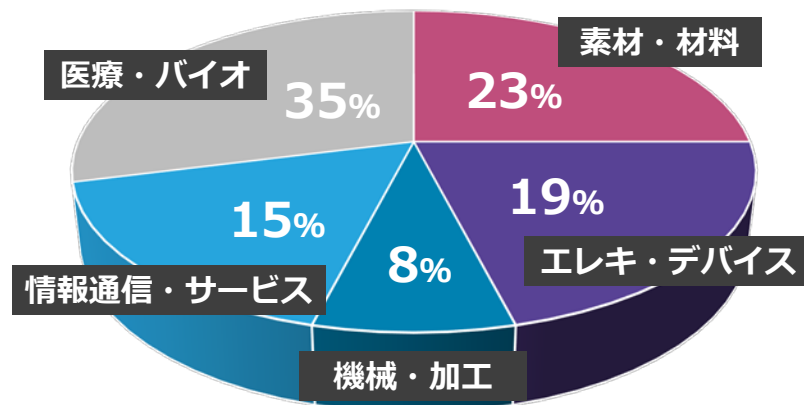
上位20社のうち2社が東北大学発ベンチャー (1社がユニコーン企業)

▶ クリーンプラネット
(新水素エネルギーの実用化研究：想定時価総額2位)

▶ ispace
(月面探査プログラム：想定時価総額18位)

出典：STARTUPDB (2020.9.2時点)

THVP-1号ファンド投資状況 (26社52.4億円)



東北大学の強みである素材・材料、エレキ・デバイス等ものづくり企業はもとより、医療・バイオ、情報通信・サービス等、多様な業種の東北大学発ベンチャーに投資。

事業性検証を支援

これまでに50件を支援 ▶ 18社が起業へ
(①マッチングファンド、②ギャップファンド)

アントレプレナーシップの育成

アントレプレナーシップ 育成プログラム

東北大学に起業文化を醸成するために、
学生・研究者向けに多様なプログラムを
実施（令和元年度受講者1,323名）

- 企業家リーダー育成プログラム
- ジャパンバイオデザイン東北プログラム
- スタートアップ基礎講座
- e起業塾（e-learning30講座）
- ゼロイチゼミ
- 東北大学ビジネスプランコンテスト ほか

事業性検証を支援

ビジネスインキュベーション プログラム（BIP）



2013年から開始

これまでに
50件を支援

- （①マッチングファンド、②ギャップファンド）
- ① 重点 3,000～6,000万円：11件
 - ② 育成 500万円：39件
- ▶50件中 **18社が起業へ**

東北大学発ベンチャーへの投資

東北大学 ベンチャーパートナーズ



2015年2月設立

TOHOKU University
Venture Partners
Co., Ltd.

第一号ファンド2015年8月組成
（96.8億円、10年）
これまでに**26社に52.4億円投資**
第2号ファンド設立(2020年10月)

東北大学スタートアップガレージ（アントレプレナー育成拠点）

東北大学に起業文化を醸成し、2030年までに **東北大学ベンチャーを100社 創出！！**



- OBOG・アドバイザー陣が協力バックアップ
- コミュニティスペースを常設
起業を志す仲間と交流
- 起業塾ピッチイベント
- VC・金融機関と連携し資金調達を支援
- 大学シーズと企業とのマッチングを支援
- メンターが起業相談や立ち上げを全力サポート

実績ある本学独自のシームレスなベンチャー支援システムをベースに新たなシステムを構築する